

4/10 新学期、安全な登校を見守ります

～交通安全タッチ運動～



▶子どもたちの安全な登校に、
者の皆さんも協力ください。
運転

新1年生の初登校日にあわせ、市内の主要な道路で、交通安全協会や保護者、地域の人々がタッチ運動を行い、子どもたちの安全な登校のために交通誘導をしました。

緑ヶ丘小学校の付近の交差点では、前畑市長や荒尾警察署長、荒尾地区交通安全協会長が児童の横断に付き添い、通学を見守りました。

雨が降り肌寒い朝でしたが、真新しいランドセルを背負った子どもたちは、元気な声であいさつを交わして登校していました。

4/15 満開の牡丹が彩る優雅な茶会

～宮崎兄弟の生家 牡丹茶会～



▶赤やピンクなどの牡丹の花がちよ
うど盛りを迎えていました。

牡丹茶会は、宮崎兄弟の生家で行われました。県の指定文化財である宮崎兄弟の生家を多くの人に訪れてもらい、日本の伝統文化を楽しんでもらおうと、毎年牡丹が咲く時期に荒尾茶道会が開いている催しです。屋内と屋外にそれぞれ茶席が設けられ、およそ200人が出席し、牡丹と茶を楽しみました。

生家の庭は、かつて宮崎滔天が中国から持ち帰った牡丹が植えられていました。このことにちなみ、今もたくさんの牡丹を植えています。

4/29 文化財に親しみ、祭りを楽しむ

～2012万田坑市民まつり～



▶万田保育園の皆さんは「くまモン
体操」で祭りを盛り上げました。

2012万田坑市民まつりは、万田坑入口広場で行われ、およそ400人が訪れました（主催：万田坑市民まつり実行委員会）。

大牟田高校吹奏楽部によるマーチング演技の披露や餅つき、地域の保育園や住民の皆さんによるフラダンスや民謡、荒尾太鼓による太鼓演奏などのアトラクションで盛り上がりしました。

万田坑の櫓と巻揚機室の前で繰り広げられるはつらつとした演技に、訪れた人からは大きな拍手が湧きおこっていました。

5/3 大空に泳ぐ鯉のぼりの下で

～岩本橋鯉のぼりまつり～



▶水道局のマスコット・あらぞうく
んも子どもたちとクイズに参加。

岩本橋一帯で「岩本橋鯉のぼりまつり」が開催されました。このまつりは、平井校区元気づくり委員会の主催で毎年行われていて、今回で9回目（昨年は中止）です。

15本の矢旗が並び、70匹あまりの鯉のぼりが風に雄大に泳ぐ中、みのり保育園児による歌の披露や地域住民の皆さんによる踊り、音楽ライブなどが行われました。また、岩本橋の下ではフリーマーケットも開かれ、およそ800人の来場者が水辺で楽しいひとときを過ごしました。

4/22 シギ・チドリ飛ぶ荒尾干潟

～荒尾海岸で探鳥会～



▶今回は鹿児島県から、およそ30人
が観察に訪れました。

有明元気づくりと日本野鳥の会熊本県支部が企画し、探鳥会が行われました。

ラムサール条約湿地に指定されることが期待されている荒尾干潟は、渡り鳥が移動するときの中継地点です。春と秋には、多くのシギ・チドリなどの渡り鳥がやってくる場所です。この渡り鳥を観ようと、市内外からおおよそ70人が参加しました。

波が高く海は荒れ模様でしたが、ハマシギなど25種類の鳥が確認されました。

4/26 地域の課題を語ってすみよいまちに

～中央地区で「市長とまちづくりトーク」～



▶およそ20人が参加し、前畑市長や
山崎副市長と語り合いました。

市長が地域の皆さんと身近に語り合い、市政への意見や提言をいただく「市長とまちづくりトーク」を中央区団地集会所で開催しました。

市長から荒尾市の概況の説明が行われた後、地区からさまざまな意見が寄せられました。

防災計画や震災がれきの問題、路線バス、草刈りのことなど地域に密着した質問が出され、まちづくりへ取り組むための有意義な時間を過ごすことができました。今後の市政に反映させていきたいと考えます。

5/5 バラが豊かに香る市民花壇で祭り

～ばら祭り～



▶バラの花を楽しみ、ステージを楽
しむ荒尾の風物詩になりました。

おもやい市民花壇でばら祭りは行われ、およそ800人が訪れました。バラの香りが漂う会場では、バラ苗の販売、日用品のバザーなどが行われました。

また地域住民の皆さんによるダンスや舞踊、楽器演奏が披露されました。ゲストとして荒尾市出身の歌手で観光大使の関島秀樹さんも出演し、一層華やかなステージになりました。

訪れた人は、1,900株のバラとともに、多彩なステージを楽しみました。



100歳、おめでとうございます！



高塚清さん
(川登)

4月26日に100歳の誕生日を迎えた高塚清さんに、前畑市長が記念品を贈呈しました。家族や近所の人から祝福を受け、和やかなお誕生日を過ごされました。天気の良い日は、夫婦で川端の小屋で過ごす時間を楽しんでいます。長生きの秘けつは「自然に任せること」だそうです。

※ラムサール条約とは「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に附する条約」という、水鳥が棲む湿地を守るための国際条約のことです。荒尾干潟は、環境省が今年7月の国際会議での登録を目指しています。